

平成28年度「学校マニフェスト」の結果・検証

項目	マニフェスト具体的内容(重点項目)	数値目標	結果及びその検証
学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教員の指導力向上を目指した研究体制の整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携した指導の一貫性を図る</li> <li>・協同学習による学習への満足度、理解度を高める</li> </ul> </li> <li>○小中PTAと連携した家庭学習の習慣形成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中合同で家庭学習キャンペーンを実施する</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教員が年1回以上の研究授業</li> <li>・小中合同研修会、合同授業研の開催</li> <li>・学習への満足度80%以上</li> <li>・標準学力テストで前年比+10</li> <li>・学期に1回の家庭学習強化週間の設定</li> <li>・家庭学習の定着度90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教員外部授業公開、3分の1が研究授業を実施</li> <li>・小中合同研修会1回、合同授業研究会2回実施</li> <li>・「好きな教科がある」肯定的回答86%(学校評価アンケート・生徒)</li> <li>・「よくわかる授業してくれる」肯定的回答85%(学校評価アンケート・生徒)</li> <li>・標準学力テストは来年度4月に実施</li> <li>・2・3学期に家庭学習推進週間設定(小中連携が課題)</li> <li>・メディア接触時間の減少と家庭学習時間の増加のための取り組みが必要。(家庭との連携が課題)</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主任会や学年会、職員会など、あらゆる場面で生徒理解を組織的かつ迅速に行う                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導、教育相談、特別支援教育に関わる情報交換会の定例化</li> </ul> </li> <li>○人権教育およびメディア教育における小中一貫した指導の整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳や学級活動・総合的な学習の時間の指導の充実を図る</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活満足度90%以上</li> <li>・QU分析検討会年2回</li> <li>・いじめ事案件数ゼロ</li> <li>・学校不適應、長欠生徒ゼロ</li> <li>・校区一貫指導計画の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QU(注1)の学級満足群の生徒人数割合が全学年で増加</li> <li>・QU分析検討会を年2回実施、指導に活用</li> <li>・いじめの定義の変化によって認知数は逆に増加した</li> <li>・別室登校生徒、学校不適應生徒をチームで支援中(未然防止が課題)</li> <li>・人権教育は町で全体計画を作成。校区の指導計画は作成に至らず(継続課題)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校とCS(注2)の協働体制を確立し、生徒の主体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒のボランティア参加率100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動にほぼ100%の生徒が参加</li> </ul>

C S 連 携	性・自尊感情を高める ・広報活動の強化充実 ・小学校 CS との連携 ・校内体制の整備	・自己肯定・有用感+10% (学校評価アンケート・生徒) ・生徒の活動への満足度80%以上 ( " )  ・CS としての活動認知度70%以上 ・教職員とCS委員の交流会年3回	・「みんなの意見がまとまるようなアイデアが出せる」肯定的回答63%(学校評価アンケート・生徒) ・「クラスのメンバーとして、できることを自分から引き受けている」肯定的回答87% (") ・「地域が発展する活動に参加したい」肯定的回答76% (") ・「地域の人との交流が楽しい」肯定的回答80% (") ・「文化祭で良い取り組みができた」肯定的回答84% (") ・「文化祭で感動や一体感を感じた」肯定的回答85% (") ・CSのPR看板を美術部が作成中(広報は継続課題) ・CS委員・教職員・PTA役員協議会を3回実施 (参加しやすい時間設定が課題)
------------------	--	--	---

注1、QU調査とは、子どもの学校生活意欲と学級満足度、対人関係を築く際に必要なソーシャルスキルを調べる生徒アンケートです。

注2、CSとはコミュニティ・スクール(地域協働学校)の略です。南部町では地域の人と協働して学校づくりに取り組んでいます。